

第48回「放送文化基金賞」表彰対象について

放送文化基金賞は、過去1年間（2021年4月～2022年3月）の放送の中から選ばれた、優れたテレビ、ラジオ番組や個人・グループに毎年贈られる賞です。今回は、全国の民放、NHK、コミュニティ放送局などから、全部で241件の応募、推薦がありました。4月から約2か月にわたる厳正な審査の結果、テレビドキュメンタリー、テレビドラマ、テレビエンターテインメント、ラジオの4つの番組部門で、それぞれ最優秀賞、優秀賞、奨励賞の16番組と、演技賞や出演者賞など個人6件、さらに個人・グループ部門の放送文化、放送技術で7件の受賞が決まりました。

受賞者には、賞牌・トロフィー、賞金が贈られます。賞金は、番組部門の最優秀賞—100万円、優秀賞—50万円、奨励賞—30万円、番組部門の個人賞—20万円、個人・グループ部門—30万円です。

贈呈式は、2022年7月6日(水) 午後4時30分からオークラ東京で行います。

1. 番組部門———16番組、6件

- (1) テレビドキュメンタリー番組……………5番組
最優秀賞—1 優秀賞—1 奨励賞—3
- (2) テレビドラマ番組……………4番組
最優秀賞—1 優秀賞—1 奨励賞—2
- (3) テレビエンターテインメント番組……………4番組
最優秀賞—1 優秀賞—1 奨励賞—2
- (4) ラジオ番組……………3番組
最優秀賞—1 優秀賞—1 奨励賞—1
- (5) 個人……………6件
「演技賞」——2件
「出演者賞」——1件
「脚本賞」——1件
「企画賞」——1件
「企画・制作賞」——1件

2. 個人・グループ部門———7件

- (1) 放送文化……………4件
- (2) 放送技術……………3件

お問い合わせ先 放送文化基金（担当 川副、鈴木、大園）
東京都渋谷区神山町9-6 日本会館2
TEL(03)5738-7151

第48回「放送文化基金賞」受賞一覧

部門	賞 (賞金)	受賞者	番組名・業績	
番組部門	テレビドキュメンタリー番組	最優秀賞 (100万円)	NHK名古屋放送局	目撃！につぼん 妹が生まれなかったかもしれない世界～出生前診断と向き合って～
		優秀賞 (50万円)	グループ現代、NHKエンタープライズ、NHK	E TV特集「“玉碎”の島を生きて～テニアン島 日本人移民の記録～」
		(30万円)	南海放送	瀬戸内海がゴミ箱になる日
		奨励賞 (30万円)	山陰中央テレビジョン放送	第30回FNSドキュメンタリー大賞 命の選択 ～ALSとの闘い～
		(30万円)	NHK広島放送局、NHK福岡放送局	NHKスペシャル 原爆初動調査 隠された真実
	テレビドラマ番組	最優秀賞 (100万円)	日本テレビ放送網	水曜ドラマ ハコヅメ ～たたかう！交番女子～
		優秀賞 (50万円)	AX-ON、NHK	プレミアムドラマ しずかちゃんとパパ
		(30万円)	WOWOW、日活、テレビマンユニオン	WOWOWオリジナルドラマ 前科者 -新米保護司・阿川佳代-
		奨励賞 (30万円)	NHK大阪放送局	連続テレビ小説 カムカムエヴリバディ
	テレビエンターテインメント番組	最優秀賞 (100万円)	TBSテレビ	水曜日のダウンタウン おぼん・こぼん THE FINAL
		優秀賞 (50万円)	テレコムスタッフ、NHKエデュケーショナル、NHK	100分deパンデミック論
		(30万円)	WOWOW	ザ・モキュメンタリーズ ～カメラがとらえた架空世界～
		奨励賞 (30万円)	関西テレビ放送	笑いの総合格闘技！千原ジュニアの座王 新春SP
	ラジオ番組	最優秀賞 (100万円)	NHK	FMシアター 手を振る仕事
		優秀賞 (50万円)	RKB毎日放送	永遠の平和を あるBC級戦犯の遺書
		奨励賞 (30万円)	ニッポン放送	ニッポン放送報道スペシャル あの日誓いから10年・始まった共生社会への挑戦！
		演技賞 (20万円)	永野芽郁	水曜ドラマ ハコヅメ ～たたかう！交番女子～
		演技賞 (20万円)	笑福亭鶴瓶	プレミアムドラマ しずかちゃんとパパ
		出演者賞 (20万円)	岩田功次	瀬戸内海がゴミ箱になる日
		脚本賞 (20万円)	藤本有紀	連続テレビ小説 カムカムエヴリバディ
企画賞 (20万円)		千原ジュニア	笑いの総合格闘技！千原ジュニアの座王 新春SP	
企画・制作賞 (20万円)		大村由紀子	永遠の平和を あるBC級戦犯の遺書	
個人・グループ部門	放送文化	(30万円)	上原直彦 (ラジオパーソナリティー)	長年にわたり放送を通じて沖縄文化の保存・普及に貢献
		(30万円)	『提言の広場』制作スタッフ (山形テレビ)	50年にわたり地域課題について提言する番組を制作
		(30万円)	『RSK地域スペシャル メッセージ』制作スタッフ (RSK山陽放送)	ゴールデンタイムで1時間のドキュメンタリー番組を開始して10年を迎えた実績
		(30万円)	「NHKテレビ放送史」編纂チーム (NHK)	テレビ放送開始70年記念「NHKテレビ放送史」冊子・ウェブサイト制作
	放送技術	(30万円)	日本テレビAI社内開発チーム (日本テレビ放送網) 代表 篠田 貴之	AI業務支援システム「エイディ」の社内開発と運用
		(30万円)	8Kハイスピードカメラ開発グループ (NHK) 代表 佐藤 真悟	8Kハイスピードカメラの開発
		(30万円)	「FM回り込みキャンセラー」開発チーム (山口放送、日本通信機、NHKテクノロジーズ) 代表 恵良 勝治 (山口放送)	FM回り込みキャンセラー及び混信波除去装置の開発

*番組部門の各賞と個人・グループ部門は、受付順による。

第48回 放送文化基金賞

「番組部門」

— テレビドキュメンタリー番組 —

最優秀賞

タイトル・放送日・制作	スタッフ・出演者等	概要	選考理由
<p>目撃！につぼん 妹が生まれなかった かもしれない世界 ～出生前診断と向き 合っ～</p> <p>2021. 11. 7 (日)</p> <p>NHK名古屋放送局</p>	<p>撮影・ディレクター 植村 優香 編集 樋口 俊明 撮影 田嶋 文雄 音響効果 栃木 康幸 音声 藤原 孝智 映像技術 鮫島 要 プロデューサー 水谷 宣道 制作統括 石田 望</p>	<p>私 (ディレクター) には、18歳 のダウン症の妹がいる。彼女は、私 たち家族にとって大切な存在だ。し かし、いま、妹が生まれてこなかっ たかもしれない世界が広がってい る— お腹の赤ちゃんの状態を調べる、 出生前診断。特に、妊婦の血液でお 腹の赤ちゃんの障害を調べるNI PT (新型出生前検査) が手軽さを 背景に広がっている。そして、検査 で障害の可能性が分かり、確定した 人の9割が中絶をしているという。 私は、両親に出生前診断について 尋ねたとき、衝撃的な言葉を聞いた。 「そのときの自分だったら、検査 を受けて陽性だったら妹を生めな かったかもしれない」。 命を選ぶということは、どうい うことなのか。私は、実際に出生前診 断を受け、決断を迫られた人たちに 話を聞くことにした。取材から見 てきたのは、家族それぞれの実情、 そして情報がないままに選択を迫 られる現実だ。今なにが必要な のか、当事者との対話から考えるセル フドキュメンタリー。</p>	<p>最近、NIPT (新型 出生前検査)、つまり 胎児の染色体異常の 可能性を調べる検査 をする妊婦が多い。高 齢出産が増えてニー ズが高まる中、学会の 認定を受けていない 美容外科や皮膚科も 参入しているという 現実がある。優生思想 に通じる、障害者差別 に繋がる、という声 がある一方で、産むべ きか否かと選択を迫 られる当の妊婦の悩み は深い。 この作品は、ダウン 症の妹を持つ若い女 性ディレクターの切 実さと、妹への深い愛 が伝わってくる。小品 ながら、重要な問題提 起のなされた優れた 作品であることが評 価された。</p>

優秀賞

タイトル・放送日・制作	スタッフ・出演者等	概要	選考理由
<p>ETV特集「“玉砕” の島を生きて～テニ アン島 日本人移民 の記録～」</p> <p>2021. 8. 28 (土)</p> <p>グループ現代 NHKエンタープラ イズ NHK</p>	<p>演出・撮影・ 太田 直子 ナレーション 撮影 家塚 信 編集 井上 秀明 音響効果 井田 栄司 イラストCG 福島あんず 制作統括 東野 真 太田 宏一 田野 稔 出演 小檜山ミサ 高松 藤子 小檜山 昇 久保 ミエ 有元 盛男 二瓶 寅吉</p>	<p>第一次大戦後、日本の委任統治領 となった旧南洋群島 (ミクロネシ ア)、テニアン島。大正末期、南洋 興発株式会社がサトウキビ栽培の ため開拓、移民を送り込み、1万人 を超える日本人が生活していた島 は、1944年夏、日米の決戦場に。追 い詰められた住民たちの中には「生 きて虜囚の辱めを受けず」という軍 の命令が浸透しており、日本軍の 「玉砕」後、次々と集団自決をはか る。福島県出身の小檜山一家も渦中 にあった。肉親や親友を手にかけた 重い記憶を背負ったまま、戦後を生 き抜いた人たちの、遺言ともい べき、貴重な証言をもとに極限の戦場 を描く。</p>	<p>原爆を搭載したエ ノラ・ゲイが飛び立 ったテニアン島。が、玉 砕したはずのこの島 に、たくさんの日本 人が生き残っていた。 女性ディレクターが その家族に寄り添い、 集団自決を迫られた 住民の悲劇を聞き出 す。淡々と語る老女 の姿に、二度とこ うい悲劇を起こして はならない、とい う女性ディレクター の執念が感じら れる。</p>

奨励賞

タイトル・放送日・制作	スタッフ・出演者等	概要	選考理由
瀬戸内海がゴミ箱になる日 2021. 5. 29 (土) 南海放送	撮影・ディレクター プロデューサー ナレーション 出演 山本 貴洋 伊東 英朗 永野 彰子 岩田 功次	穏やかで美しく豊かな瀬戸内海。しかし、私たちには見えてなかったもう一つの顔がある。岩田功次さんは海からしか見えない入江にプラスチックゴミが溜まり続けることに注目。これまで500か所以上のゴミスポットを発見した。ただゴミスポットには、船でしかたどり着けない。何十年もかけ層となったプラスチックゴミの山、その運搬は風や波の影響もあり命がけだ。海洋ゴミの受け入れや処分方法は自治体任せで対応はまちまちで、苦勞して拾っても、受け入れてもらえない場合もある。そんなプラスチックによる海洋汚染の深刻な現実取材した。	プラゴミが海洋を汚染していると聞かすが、この映像を見たら誰もが驚くだろう。当番組は、信じられない現実を可視化した。瀬戸内海の美しい海岸に流れ着いたゴミの量を見たら、誰もが人類の行く末に絶望的な気持ちになることだろう。しかし、行政も追いつけない現実の中、たった一人でゴミを拾い続ける人物の存在が、微かな希望を抱かせる。
第30回FNSドキュメンタリー大賞 命の選択 ～ALSとの闘い～ 2021. 5. 29 (土) 山陰中央テレビジョン放送	プロデューサー ディレクター 構成 撮影・編集 ナレーション 岡本 敦 藤谷 裕介 関 盛秀 野田 貴 鈴木 颯	ALS（筋萎縮性側索硬化症）は、全身の筋力が衰え、多くの患者が2年から5年で死亡する原因不明の難病。全国で約1万人、島根・鳥取両県でも約150人が患っている。京都市のALS患者への囑託殺人事件を契機に、病と闘う3人の患者を中心に取材。病状が進行する恐怖と向き合いながら家族と共に「命の選択」に揺れる姿を追った。人工呼吸器を装着し17年になる患者は、笑顔の家族に囲まれながらも「お金を払って尊厳死ができるなら…」とも語る。希望、葛藤…厳しい選択を目の前にしたALS患者が声を振り絞り、また声なき声で、コロナ禍の世の中に伝えたメッセージに迫った。	ALS患者が、それぞれの思いや苦しみを語る。患者は、呼吸器を装着する時に重要な決断を迫られる。いったん装着すれば、自分の意志を外に出せなくなる「閉じ込め症候群」になる怖れもあるのだという。「尊厳生」とは何か、ということを考えさせられる、極めて重い番組である。
NHKスペシャル 原爆初動調査 隠された真実 2021. 8. 9 (月) NHK広島放送局 NHK福岡放送局	語り 撮影 音声 音響効果 編集 取材 ディレクター 制作統括 廣瀬 修子 濱中 博久 三好 学 落原 徹 日下 英介 河野 達則 喜多 祐介 佐野 剛士 水嶋 大悟 大小田紗和子 佐藤 稔彦 小口 拓朗	今から77年前の終戦直後。広島と長崎では、アメリカと日本の科学者が協力する形で、原爆の放射線の影響などが詳しく調べられた。しかし、自然界の百倍以上の放射線が計測されたのに関わらず、アメリカ軍は「人体への影響は無視できる」と報告書に記載。その存在を否定していたのだ。——なぜ、そうした事が起きたのか？ 私たちは埋もれていた報告書や証言を発掘。今も原爆の影響に苦しむ被爆者たちにとって原点とも言える「初動調査」。その全貌に迫っていく。	丹念な取材に圧倒される。原爆の効果について、アメリカ軍と日本の医師が共同で研究したことは知られているが、残留放射能まで厳密に調査したという事実はどうであろうか。ここで重要なのは、アメリカ軍が国際世論を怖れて調査結果を隠蔽した、ということだ。その犯罪性を暴いた、この作品の意義は大きい。

第48回 放送文化基金賞
「番組部門」
－ テレビドラマ番組 －

最優秀賞

タイトル・放送日・制作	スタッフ・出演者等	概要	選考理由
水曜ドラマ ハコヅメ ～たたかう！交番女子～ 2021. 7. 7 (水) ～9. 15 (水) <全9回> 応募は第1回、2回 日本テレビ放送網	原作 泰 三子 脚本 根本ノンジ プロデューサー 藤森 真実 田上 リサ チーフプロデューサー 加藤 正俊 演出 南雲 聖一 丸谷 俊平 伊藤 彰記 出演 戸田恵梨香 永野 芽郁 三浦 翔平 山田 裕貴 西野 七瀬 平山 祐介 千原せいじ 洲野 右登 ムロツヨシ ほか	「警察官にさえなれば一生安泰」——そんな安易な考えから警察官になった新人・川合麻依(永野芽郁)は、通称“ハコヅメ”こと交番勤務に配属されて2週間。地域の人たちのために働いているはずが全く感謝もされず、心身共にキツイ警察の仕事に限界を感じ、早々に辞職願を出すタイミングを狙っていた。 そんな矢先、川合は“ある問題”を起こして交番に飛ばされてきたという刑事課の元エース・藤聖子(戸田恵梨香)とペアを組むよう言い渡され、辞職願を出し損ねてしまう。飛ばされた理由が“パワーハラ”と聞きビビる川合をよそに、藤はパトロール中に早速その能力を発揮！ある“気づき”から、不審な男を鮮やかに捕まえて… 突然ペアを組むことになった2人が、助け合い、支え合い、事件に、雑務に、恋(!?)に大奮闘。身近なようで意外と知らない、“お巡りさん”のリアルな日常を描く交番エンターテインメント！	女子会もする普通の女子である交番勤務の女性警察官にフォーカスしたこのドラマは、権力を振りかざすこれまでの警察物とは一線を画して、時代の変移を明確に映し出した。随所で笑いを誘うテンポの良い脚本は、シリアスな社会問題もしっかりと描き出し、エンターテインメント性と社会性のバランスが絶妙だ。パワー志向で完璧な女性巡査部長に対してダメな主人公という設定も、「たたかわない」「がんばれない」人を応援する今日的な側面があると評価できる。

優秀賞

タイトル・放送日・制作	スタッフ・出演者等	概要	選考理由
プレミアムドラマ しずかちゃんとパパ 2022. 3. 13 (日) ～5. 1 (日) <全8回> 応募は第1回、2回 AX-ON NHK	脚本 蛭田 直美 音楽 村松 崇継 制作統括 海辺 潔 制作統括・演出 松原 浩 出演 岩本 仁志 茂山 佳則 島崎謙太郎 プロデューサー 戸倉 亮爾 出演 吉岡 里帆 中島 裕翔 稲葉 友 藤井 美菜 萩尾みどり 戸田 恵子 木村 多江 笑福亭鶴瓶	野々村静(吉岡里帆)は、地方の商店街で写真館を営む父・純介(笑福亭鶴瓶)と二人暮らし。純介は生まれながらに耳が聞こえない「ろう者」で、静は自ずと父の耳代わり口代わりを務めてきた。職人気質だが愛嬌のある純介と感情豊かで明朗な静は“町の名コンビ”。だが一歩町を出ると、静はどこか「生きづらさ」を抱えていた。仕事は長続きしない、同世代に嫌われる…。そんな頃、静は道永圭一(中島裕翔)と出会う。彼もまた、コミュニケーション力に難のある、生きづらさを抱えた青年だった。人一倍、愛情も関係も“濃ゆい”父娘の、親離れ子離れを描くウエディング・ストーリー！	ろう者を社会的弱者と決めつけるべきではないとする現代的視点が盛り込まれ、ろう者の親の耳代わり口代わりを務めるコーダ(CODA=Children of Deaf Adult/s)の人生を実にリアルに描き出し、誰かのことを気にかけてながら生きる大切さを感動的に描いたホームコメディとして今まさに評価すべき作品である。

奨 励 賞

タイトル・放送日・制作	スタッフ・出演者等	概 要	選 考 理 由
<p>WOWOWオリジナルドラマ 前科者 ー新米保護司・阿川佳代ー</p> <p>2021. 11. 20 (土) ~12. 25 (土) <全6回> 応募は第1回、2回、5回、 6回</p> <p>WOWOW 日活 テレビマンユニオン</p>	<p>監督 岸 善幸 岡下 慶仁</p> <p>原作 香川まさひと 月島 冬二</p> <p>脚本 港 岳彦</p> <p>音楽 岩代 太郎</p> <p>企画・プロデュース 加茂 義隆 井口 正俊 西村信次郎</p> <p>出演 杉田 浩光 菅原 康洋 有村 架純 石橋 静河 大東 駿介 古川 琴音 宇野 祥平 北村有起哉</p> <p style="text-align: right;">ほか</p>	<p>コンビニのアルバイトで生計を立てる阿川佳代(有村架純)は、罪を犯した者の更生を助ける無給の国家公務員である保護司になることを決意。保護司になったばかりの佳代は、恐喝および傷害罪の斉藤みどり(石橋静河)、殺人罪の石川二郎(大東駿介)、覚醒剤取締法違反の田村多実子(古川琴音)を担当することに。彼/彼女ら保護観察対象者のために奔走する佳代だったが、彼女自身も過去のある経験からトラウマを抱えていた。罪を犯した者に寄り添い続けることはできるのか。正解のない問いと向き合う1人の新人保護司の奮闘と成長を描く物語。</p>	<p>苦しむ人を理解しようと努める主人公の真剣さと弱さがこのヒューマンドラマを感動的なものになっている。優しさが強く求められる現代ならではの作品であり、主役の有村架純をはじめ、女性前科者を演じた石橋静河、古川琴音らの演技もすばらしかった。</p>
<p>連続テレビ小説 カムカムエヴリバディ</p> <p>2021. 11. 1 (火) ~2022. 4. 8 (金) <全112回> 応募は第17、18、19、20、94、 95、96、97回</p> <p>NHK大阪放送局</p>	<p>作(脚本) 藤本 有紀</p> <p>音楽 金子 隆博</p> <p>制作統括 堀之内礼二郎 櫻井 賢</p> <p>演出 安達もじり</p> <p>美術 掛 幸善</p> <p>技術 坂本 忠雄</p> <p>演出 橋爪紳一朗 深川 貴志 松岡 一史 嶋野 聡</p> <p>音響デザイン</p> <p>出演 上白石萌音 深津 絵里 川栄 李奈 城田 優 松村 北斗 村上 虹郎 オダギリジョー 本郷 奏多 松重 豊 森山 良子</p> <p style="text-align: right;">ほか</p>	<p>朝ドラ史上初となる3人のヒロインによるバトンリレーで描く100年の家族の物語。</p> <p>和菓子屋の娘で、家族を失いながらも戦中戦後を懸命に生き抜いた安子(上白石萌音)。安子の娘で、故郷の岡山を飛び出し、大阪のクリーニング店で働くるい(深津絵里)。るいの娘で、京都の下町育ち、時代劇が大好きなひなた(川栄李奈)。3人の運命を導いたのがラジオ英語講座だった。昭和・平成・令和、彼女たちはそれぞれの時代の試練にぶつかりながらも、恋に、仕事に、自分らしい生き方を見出していく。ひなたの道を歩けば人生は輝く。人々の心を明るく照らす希望の物語。</p>	<p>三代100年に及ぶ女性たちの人生を、ラジオ英語講座、ジャズ、時代劇、あんこなどを題材にして壮大な物語を紡いだ脚本の藤本有紀の功績が大きい。鋭々たる俳優陣の演技、時代をしっかりと描き分けた演出、そして音楽、主題歌に至るまで、最高の粋を凝らした作品となった。</p>

第48回 放送文化基金賞

「番組部門」

— テレビエンターテインメント番組 —

最優秀賞

タイトル・放送日・制作	スタッフ・出演者等	概要	選考理由
水曜日のダウンタウン おぼん・こぼん THE FINAL 2021. 9. 29 (水) 2021. 10. 6 (水) TBSテレビ	制作プロデューサー 坂本 義幸 演出 藤井健太郎 プロデューサー 高柳 健人 田邊 哲平 ディレクター 池田 哲也 水口 健司 出演 ダウンタウン おぼん・こぼん ナイツ 伊集院 光 川島 明 (麒麟) 柳原可奈子	芸能人・有名人たちが自分だけが信じる“説”を、独自の目線と切り口でプレゼン。その“説”についてVTRで、またはスタジオメンバーとのトークで検証を行っていく番組。 本企画は、レジェンド不仲芸人おぼん・こぼんの2年をかけた仲直りプロジェクトの完結編。2019年にナイツ立ち会いのもとで仲直りを目指したが、失敗に終わった。そこで今回は、人生の大半を共に歩んだ芸歴56年の2人のこれまでを「おぼん・こぼんヒストリー」として振り返り、不仲となった原因を究明することで解決の糸口を探る。そんな中、こぼんの娘の結婚式が開かれることになり、仲直りして2人揃って参加してほしいと娘らは願う。 レジェンド不仲芸人おぼん・こぼんの2年をかけた仲直りプロジェクトが遂に決着！10年ぶりの関係修復となるのか？2人が出した答えは…！？	解散寸前の危機に陥ったベテラン漫才コンビおぼん・こぼん。2年をかけてその仲直りを応援する企画の最終章である。果敢な仕掛けと必死の説得から生まれる奇跡の展開は、予定調和をよしとしない同番組ならではの緊迫感に満ちていた。深まる溝、意地とプライド、修復と和解…。心の奥底の感情を掬い上げ、赦しへの希望も描き出す、出色の人間ドキュメントにもなっていた。時にはバッドエンドも厭わず、テレビバラエティの限界に挑むその姿勢が高く評価され、最優秀賞に輝いた。

優秀賞

タイトル・放送日・制作	スタッフ・出演者等	概要	選考理由
100分 de パンデミック論 2022. 1. 3 (月) テレコムスタッフ NHKエデュケーショナル NHK	制作統括 秋満 吉彦 プロデューサー 横山 敏子 ディレクター 羽根井信英 アシスタント・ディレクター 中村翔太郎 撮影 長谷部雅治 佐藤 洋祐 照明 尾山 隆之 音響効果 吉田 隆一 編集 大泉 渉 アニメーション 川口 恵里 出演 伊集院 光 安部みちこ 高橋源一郎 斎藤 幸平 小川 公代 栗原 康 伊勢 佳世 奥野 瑛太	2020年世界を襲った新型コロナウイルスは、私たちの暮らしを一変させた。現在も続くコロナ禍…古今東西の名作を紹介する「100分 de 名著」の新春スペシャル、2022年は“パンデミック”と向き合う。経済思想家、文学研究者、政治学者、作家が「自分のすすめるパンデミック論」の名著をプレゼン。それぞれの視点からそのメッセージを読み解き、この状況に私たちはどう立ち向かっていけばよいのか？パンデミック後の世界で、疲弊した社会をどう再生していけばよいのか？…等、熱く語り合う。バラバラだと思っていた4冊の名著が一つになっていく様に読み解きの妙を堪能してほしい。	コロナ禍で頭になった貧困やケア労働の問題を、古今東西の名著を通して読み解く秀逸な教養エンターテインメントである。4冊の名著が、優れた読み手による対話を通してひとつにつながっていく過程がスリリングだった。

奨励賞

タイトル・放送日・制作	スタッフ・出演者等	概要	選考理由
<p>ザ・モキュメンタリーズ ～カメラがとらえた架空世界～</p> <p>2021. 4. 19 (月) ～5. 31 (月) <全8回> 応募は第5回、6回</p> <p>WOWOW</p>	<p>プロデューサー 宮田 徹 岡田 恒明 山口 仁志 監督・脚本 伊藤 峻太 アバンナレーション 石坂 浩二 ナレーション 綾川 まみ 出演 (第5回) 中村シユン 森谷菜緒子 荻野 由佳 (第6回) 野島 健矢 松本 寛子 マンボウやしろ ほか</p>	<p>今世界で起きている、【リアル(現実)】が【フィクション(架空)】を上回る衝撃的な出来事の数々。その原因や真相はいつも闇の中。私たちは、何を信じればいいのだろうか？現代を生きる私たちに求められるのはメディアリテラシーだ。あなたは、その力を持っているか？偽りの情報に踊らされ、本質を見失ってはいないか？この番組では、現代社会で実際に起こっている出来事や社会の矛盾を、モキュメンタリーという手法で描き、真実に迫っていく。第5回のテーマはドローン。第6回はハラスメント。</p>	<p>虚構を現実のように表現する「モキュメンタリー」の手法が斬新である。特に「ハラハラハラスメント」の回は、誰もが傷つく(傷つける)ことを恐れる近未来のディストピアを描き出し、現代社会への鋭い風刺になっていた。</p>
<p>笑いの総合格闘技！千原ジュニアの座王 新春SP</p> <p>2022. 1. 2 (日)</p> <p>関西テレビ放送</p>	<p>演出・プロデューサー 池田 和彦 プロデューサー 後藤ちあき ディレクター 岡本 和樹 構成 長谷川朝二 出演 千原ジュニア 松本 人志 くっきー！ (野生爆弾) 西田 幸治 (笑い飯) 平子 祐希 (アルコ&ピース) R藤本 稲田 直樹 (インシュタイン) 堂前 透 (ロングコートダディ) 粗品 (霜降り明星) 伊藤 俊介 (オズワルド) ほか</p>	<p>あらゆる“即興ネタ”でお笑いの瞬発力を競い合う、“笑いの総合格闘技”。イス取りゲームで座れなかった芸人が、対戦相手とお題を見て「勝てる！」と思う芸人を指名して勝負。芸歴も芸風も一切関係なく、20名の芸人たちが「大喜利」や「モノボケ」「番組オリジナルお題」といった計15種類のお題で鎬を削った。アルコ&ピース平子VS霜降り明星粗品の松本審査委員長への付度なしの「メンチ対決」、インシュタイン稲田が星になった「歌ギャグ」、R藤本VS笑い飯西田の甲乙つけがたい「中継対決」など、お笑い史に残る数々の熱戦が繰り広げられた。</p>	<p>椅子取りゲームというシンプルなルール設定と、「メンチ対決」などのユニークなお題の工夫によって、即興芸の新しい魅力とお笑い芸人たちの豊かな才能を引き出すことに成功した。大阪発の新感覚のお笑い番組である。</p>

第48回 放送文化基金賞

「番組部門」

— ラジオ番組 —

最優秀賞

タイトル・放送日・制作	スタッフ・出演者等	概要	選考理由
FMシアター 手を振る仕事 2021. 4. 24 (土) NHK	作 足立 聡 音楽 日高 哲英 制作統括 藤井 靖 演出 木村 明広 技術 野原 恒典 音響効果 林 幸夫 出演 青木 柚 中田 青渚 吉見 一豊 野田 慈伸 井上小百合 冠野 智美 津木 晃子 畑山 菜摘	小さい頃から車掌になりたいという夢があった佐藤。 今は駅の隣にあるアパートの一室で、電車の乗客に向かって笑顔で手を振るという仕事をしている。毎日手を振るだけの仕事。手を振っても振り返ってくれる人なんてほとんどいない。鉄道会社のPR活動の一環ではあるが、社内いじめや病気で体調不良になった社員達が携わっている業務だ。自分が必要とされている人間なのか戸惑い悩む佐藤は、彼と同じく夢のために上京して来た由美という女の子と知り合い、励まされる。そして不貞腐れがちな彼は変わるのだが……。 「第49回創作ラジオドラマ大賞」受賞脚本のオーディオドラマ化。	現代の若者の、仕事をめぐる漠然とした不安を掬い上げている。効率や利益を求める資本主義的な労働が限界まで見えてきていて、しかし次のビジョンがまだ見えてこない。働く若者たちは今、漠然とした不満をかんじながら、確固とした理念を持ってないでいる。あいまいな雰囲気の中での時代の気分をドラマで形象化した。 劇作としての瑕瑾はあるものの、作者のより深い探求、成熟した思索が極めて期待される。

優秀賞

タイトル・放送日・制作	スタッフ・出演者等	概要	選考理由
永遠の平和を あるBC級戦犯の遺書 2021. 11. 3 (水) RKB毎日放送	取材・構成・ 大村由紀子 演出 選曲・編集 寺岡 章人 音声 篠原 圭 ナレーション 山崎夕希子 朗読 佐藤 巧 茅野 正昌 出演 藤中 孝幸 内海 愛子 高澤 弘明	1945年、日本はポツダム宣言を受諾し敗戦した。 連合国によって戦争犯罪人を裁く軍事法廷が開かれ、スガモプリズンではA級戦犯7人のほか、捕虜虐待などでBC級戦犯53人が処刑された。 そのうちの1人、藤中松雄は現在の福岡県嘉麻市の出身だ。海軍に入隊した松雄は終戦の年の4月、沖縄県の石垣島で米兵捕虜3人の処刑現場に立ち会っていた。亡くなってから70年経って、法廷での松雄の姿が初めて確認された。松雄はどのような戦争犯罪に問われ、裁かれたのか。 公文書によって明らかになった裁判の経過と、28歳で命を絶たれた青年が遺した言葉を伝える。	テーマは重く大切なこと。何度でも言わなくてはいけない。戦犯というのは、はたまたトピカルな話題にもなり、改めて我が身を振り返るきっかけにもなった。 なぜこの悲劇が起きたのか、他人事ではない。

奨励賞

タイトル・放送日・制作	スタッフ・出演者等	概要	選考理由
<p>ニッポン放送報道スペシャル あの日の誓いから10年・始まった共生社会への挑戦！</p> <p>2022.1.2（日）</p> <p>ニッポン放送</p>	<p>プロデューサー 遠藤 竜也 ディレクター 森田 耕次 取材 上村 貢聖 構成 桜林 美佐 技術 石垣 哲 出演 小椋 汐里 上柳 昌彦</p>	<p>1998年、福島県会津若松市に生まれた小椋汐里さんは生後2か月で網膜芽細胞腫という目の病気で左目を摘出。5歳の時に右目も摘出し全盲となった。</p> <p>小学校時代から英語に接してきた小椋さんは東北学院大学文学部英文科に進み、在学中に仙台市の教職員採用試験に合格。去年4月から中学校の英語教師となった。小椋さんは生徒に英語の魅力と視覚障がい者の存在を理解してもらいたいと願い日々教壇に立っている。</p> <p>大多数の生徒、教職員は視覚障がい者と接した経験がなかった。番組では中学生や教職員らが試行錯誤のなか取り組む「共生社会1年目」の挑戦を追った。</p>	<p>盲の新人英語教師。非常に明るく、希望を示している。このような交流は、教師と生徒の両方を成長させる。ダイバーシティの幸福な成功例。外国語教育の専門家の意見も取り入れると、もっと深く広がりのあるものになりえたのではないかと期待している。</p>

第48回放送文化基金賞

「番組部門」

演技賞

受賞者	対象番組	選考理由等
ながの めい 永野 芽郁	水曜ドラマ ハコヅメ ～たたかう！交番女子～ (日本テレビ放送網) テレビドラマ番組	ドジな役柄を巧みにこなし、それが天然であるかのように見せながら、実はしっかりとした細かな配慮がなされている。視聴者の心を強くつかむ演技力を高く評価したい。

演技賞

しょうふくてい つるべ 笑福亭 鶴瓶	プレミアムドラマ しずかちゃんとパパ 〔 AX-ON 〕 〔 NHK 〕 テレビドラマ番組	驚くほどの自然体で、人間味あふれる愛すべきパパを造形した。耳が聞こえない役を演じるのはかなり難しいと思われるが、その高いハードルを見事にクリアした演技力には敬服する。
-----------------------	---	---

出演者賞

いわた こうじ 岩田 功次	瀬戸内海がゴミ箱になる日 (南海放送) テレビドキュメンタリー番組	私費を投じて、瀬戸内海の海岸に流れ着くプラゴミを拾い続けている。その圧倒的な量の前には、まるで無限の労働のようでもある。が、支援者も増えているという。そんな希望を抱かせる存在である。
------------------	---	---

脚本賞

ふじもと ゆき 藤本 有紀	連続テレビ小説 カムカムエヴリバディ (NHK大阪放送局) テレビドラマ番組	三代100年に及ぶ壮大な物語『カムカムエヴリバディ』の脚本は偉大だった。日本を明るくしたいという「カムカム英語」にも籠められていた「祈り」が作品の輝きとなった。
------------------	---	--

企画賞

ちはら 千原ジュニア	笑いの総合格闘技！ 千原ジュニアの座王 新春SP (関西テレビ放送) テレビエンターテインメント番組	『座王』の優れた企画を通して、しゃべくり中心の「漫才芸」でも、作り込まれた「コント芸」でもなく、「即興芸」という新ジャンルをテレビの世界で開拓した。
---------------	---	--

企画・制作賞

おおむら ゆきこ 大村 由紀子	永遠の平和を あるBC級戦犯の遺書 (RKB毎日放送) ラジオ番組	きわめて重要な問題に地道に長く取り組んでいる付け焼刃でない姿勢に敬意を表したい。さらに探求を望む。そこで初めて見えてくることがあるはずだ。
--------------------	--	---

第48回放送文化基金賞

「個人・グループ部門」

－ 放送文化 －

受賞者	業績	業績内容・選考理由
うえはら なおひこ 上原 直彦 (ラジオパーソナリ ティー)	長年にわたり放送 を通じて沖縄文化 の保存・普及に貢 献	長年、琉球放送で沖縄文化に関連した番組を数多く制作。沖縄民謡を紹介するラジオ番組『民謡で今日 ^{ちゅううが} 拝なびら』では、1963年番組開始時はプロデューサー、67年からはパーソナリティーとしてウチナーグチ（沖縄言葉）で語り、約60年にわたり携わっている。また、沖縄芸能に欠かせない弦楽器、三線を3月4日にみんなで演奏する「さんしんの日」を提唱、実現させ、1993年から毎年ラジオ・インターネットで生中継している。日本本土復帰50年を迎えた沖縄放送界において沖縄文化の保存・普及に尽力してきた功績は大きい。

受賞者	業績	業績内容・選考理由
『提言の広場』制作ス タッフ (山形テレビ)	50年にわたり地域 課題について提言 する番組を制作	1971年10月に放送開始。山形経済同友会と協力し、50年にわたり放送を続けている。経済にとどまらず、社会、文化、スポーツなど、様々な分野の地域課題を取り上げ、年末年始を含め、年間52回欠かさず制作し、これまでの放送は2600回を超える。同友会会員をはじめ、テーマに沿ったゲストが出演し意見交換するシンプルなスタジオトークが主体の番組。コロナ禍の現在はリモートシステムを活用し、出演者の幅が広がっている。

受賞者	業績	業績内容・選考理由
『RSK地域スペシ ャル メッセージ』制 作スタッフ (RSK山陽放送)	ゴールデンタイム で1時間のドキュ メンタリー番組を 開始して10年を迎 えた実績	民放のドキュメンタリー枠が深夜帯に多い中、山陽放送は2012年4月から水曜の19時台（現在は20時台）に1時間の報道系ドキュメンタリー番組『メッセージ』をスタートさせた。硬軟取り混ぜた多彩なラインアップで、ニュースでは伝えきれない地域の「今」を切り取り、優れた番組へと結実させ、誰もが見やすい時間帯に放送している。ゴールデンタイムにドキュメンタリーを定着させてきた地方局の志は全国の民放ローカル局へのエールにもなっており、今後のさらなる継続と発展に期待したい。

受賞者	業績	業績内容・選考理由
「NHKテレビ放送 史」編纂チーム (NHK)	テレビ放送開始70 年記念「NHKテ レビ放送史」冊子・ ウェブサイト制作	2023年2月1日のテレビ放送開始70周年に向けて、NHKが放送した番組をできる限り記録することを目的に編纂された。テレビ放送開始からの約2万5千日分の過去資料を手がかりに、全定時番組を初めて網羅的に調査。基礎調査は10年、冊子・特設サイトは3年かけて制作。千ページ以上の冊子はドラマや報道など各番組ジャンルの系譜、番組の概要、放送年表等で多角的にテレビ放送史を紹介。二次元バーコードで連動する一般公開向けウェブサイトには、各番組の紹介動画も掲載。次世代に残したい貴重な資料である。

第48回放送文化基金賞

「個人・グループ部門」

－放送技術－

受賞者	業績	業績内容・選考理由
<p>日本テレビAI社内開発チーム (日本テレビ放送網)</p> <p>代表 <small>しのだ たかゆき</small> 篠田 貴之</p>	<p>AI業務支援システム「エイディ」の社内開発と運用</p>	<p>AIを活用した業務支援システムを社内開発、AI学習に必要な事前の準備作業時間の大幅な短縮を図り、スポーツコダ運用および映像監視の一部無人化、これまでは実現できなかった生放送における背面CG合成など、番組制作から送出業務までの幅広い現場の課題を社内要員だけで短時間かつ低コストで次々と解決していることは高く評価できる。今後も放送現場の抱える課題を次々と解決することが期待される。</p>

受賞者	業績	業績内容・選考理由
<p>8Kハイスピードカメラ開発グループ (NHK)</p> <p>代表 <small>きとう しんご</small> 佐藤 真悟</p>	<p>8Kハイスピードカメラの開発</p>	<p>8K放送のキラーコンテンツであるスポーツ中継におけるスローモーション映像の高画質化を図るため3300万画素、240フレーム/秒で動作する世界初のイメージセンサーと高速インターフェースを開発、4倍速8Kハイスピードカメラを実現した。2Kカメラと同様な運用性も実現し、東京オリンピック・パラリンピック等でも使用、8K放送の魅力を高めたことは極めて高く評価できる。8K放送にとどまらず、科学分野、医療分野等への活用も期待できる。</p>

受賞者	業績	業績内容・選考理由
<p>「FM回り込みキャンセラー」開発チーム (山口放送、日本通信機、NHKテクノロジーズ)</p> <p>代表 <small>えら まさはる</small> 惠良 勝冶 (山口放送)</p>	<p>FM回り込みキャンセラー及び混信波除去装置の開発</p>	<p>中波放送のFM転換においても周波数の有効利用の観点からFM同期放送の普及が望まれている。本開発では、建設コストが安い放送波中継の実現へ向けたFM放送では初めての「回り込みキャンセラー」と海外等からの混信波を除去する「混信波除去装置」を実現、FM同期放送網を低コストで構築可能としたことは高く評価できる。さらに臨時災害放送局の実験、トンネル内再送信実験でも使用されており、一層の活用も期待される。</p>